

令和6年度 河川魚類等調査・採集委託 報告書(概要版)

調査の概要

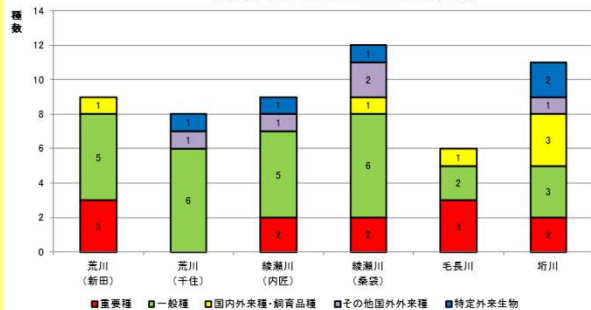
【目的】足立区内の河川に生息する魚類等を調査し、河川環境を把握する
 【調査地点】足立区内の4河川6地点で調査を実施しました(右図参照)
 【方法】投網、タモ網、小型定置網、刺網、カゴ網などを用いて、魚類の任意採集を実施しました。
 綾瀬川の2地点では、底生動物の採集も実施しました。



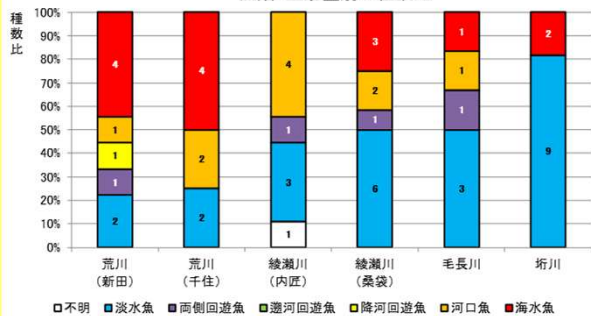
結果の概要

- ・合計6目11科24種の魚類が確認されました。
- ・重要種(環境省RLなどの該当種)は5魚種でした。
- ・国外外来種は5魚種(このうち3魚種は特定外来生物)、国内外来種は4魚種でした。
- ・確認魚種の最も多かった地点は綾瀬川・桑袋で12種、最も少なかった地点は毛長川で6種でした。
- ・確認魚種の生活型は、圀川では淡水魚の占める割合が高く、他の河川では河口魚や海水魚などもみられ、感潮域の特徴を示しました。
- ・底生動物(綾瀬川のみ実施)は36種類が確認され、4種が重要種、4種が国外外来種(うち1種が特定外来生物)に該当しました。

魚類 調査地点別の確認種数



魚類 生活型別の種数比



毛長川(ふれあい橋上流付近)

9月25日/26日 雨/晴れ
 【環境】本調査地点中、最も上流に位置します。直立護岸で単調な環境となっています。
 【確認種】ギンブナ、ニゴイ、スゴモロコ、ボラ、マハゼ、ヌマチチブ 計6種



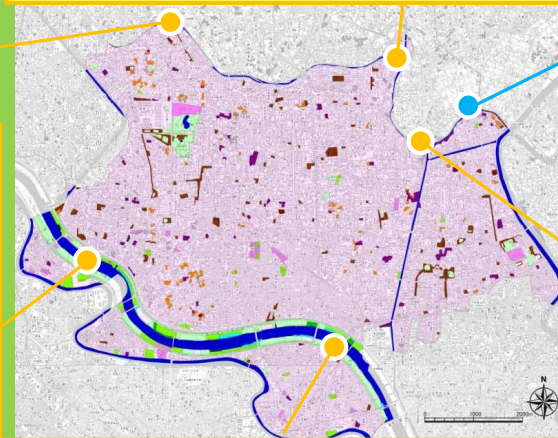
荒川(新田3丁目地先)

9月24日/25日 曇り/曇り
 【環境】ワンドが造成されており、抽水植物も多く生育しています。干潮時には泥干潟が形成されます。
 【確認種】ニホンウナギ、ハス、ニゴイ、ボラ、スズキ、シマイサキ、マハゼ、アベハゼ、ヌマチチブ 計9種



綾瀬川(桑袋ビオトープ公園付近)

7月4日/5日 晴れ/晴れ 10月2日/3日 曇り/曇り
 【環境】直立護岸となっていて、ヨシなどの抽水植物はみられません。干潮時には一部で泥干潟が干出します。
 【確認種】コイ(飼育型)、ギンブナ、モツゴ、ナマズ、ボラ、スズキ、ブルーギル、シマイサキ、マハゼ、シモフリシマハゼ、ヌマチチブ、カムルチー 計12種
 (底生動物) カワヒバリガイ、シナヌマエビ、テナガエビ、スジエビなど 計21種



荒川(千住新橋緑地)

9月24日/25日 曇り/曇りのち雨
 【環境】河岸にワンドが整備されています。抽水植物が多く生育しており、干潮時には泥干潟もみられます。
 【確認種】コイ(飼育型)、ボラ、カダヤシ、スズキ、シマイサキ、マハゼ、アベハゼ、ビリンゴ 計8種



圀川(葛西用水合流地点)

9月25日/26日 雨/晴れ
 【環境】両岸とも直立護岸となっていて、ヨシなどの抽水植物はみられません。
 【確認種】コイ(飼育型)、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、ハス、オイカワ、モツゴ、スゴモロコ、ボラ、カダヤシ、スズキ、ブルーギル 計11種



綾瀬川(内匠橋上流付近)

7月4日/5日 晴れ/晴れ 10月2日/3日 曇り/曇り
 【環境】直立護岸となっていますが、一部で泥の堆積と植物の生育がみられます。干潮時には一部で泥干潟が干出します。
 【確認種】コイ(飼育型)、ウグイ属、ニゴイ、コウライギギ、マハゼ、シモフリシマハゼ、ヌマチチブ、ウロハゼ、ビリンゴ 計9種
 (底生動物) ミズゴマツボ、ヒロマキミズマイマイ、カワヒバリガイ、タイワンシジミ、シナヌマエビ、テナガエビ、クロベンケイガニなど 計28種



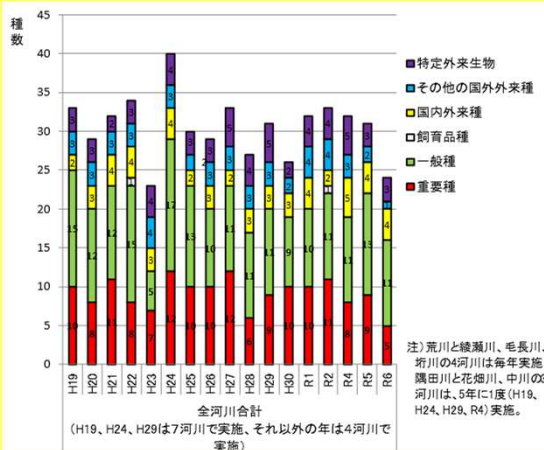
橙色枠の地点:様々なタイプの生活型が多い 水色枠の地点:淡水魚の生活型が多い
 赤色の種:重要種 青色の種:国外外来種(下線は特定外来生物を示す) 紫色の種:国内外来種・飼育品種

令和6年度 河川魚類等調査・採集委託 報告書(概要版)

経年変化

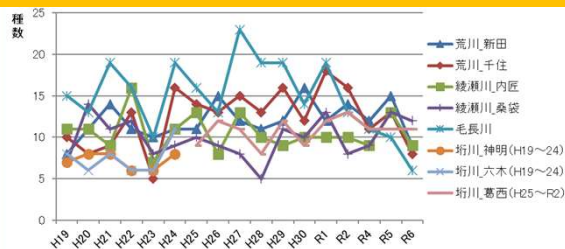
- 平成19年度から今年度までの調査で合計10目25科56種の魚類が確認されています。
- 重要種はこれまで13魚種が確認されており、毎年5～12種の間で推移しています。
- 特定外来生物はこれまで6魚種が確認されており、毎年2～5種の間で推移しています。
- 毛長川は、以前は多様な環境がみられ多くの魚種が確認されていましたが、近年は減少傾向にあります。
- 堀川は、潮汐の影響を受けにくいことと、単調な環境であることからどの年度も確認種数は少ない傾向があります。
- 汽水域の荒川と綾瀬川は、その年の出水などの影響により、確認種数が変動することが考えられます。例えば、出水時は淡水魚の生活型の種が多く確認されることがあります。

足立区全体における魚類の確認種数の経年変化

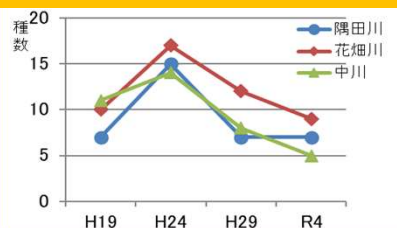


注) 荒川と綾瀬川、毛長川、堀川の4河川は毎年実施、隅田川と花畑川、中川の3河川は、5年に1度(H19、H24、H29、R4)実施。

調査地点ごとの魚類の確認種数の経年変化(毎年実施の4河川)



調査地点ごとの魚類の確認種数の経年変化(5年ごとに実施の3河川:今年度は未実施)



トピック

特定外来生物が繁殖している可能性があります

- 令和4年度調査において初確認された特定外来生物のクウライギギが今年度調査で再び確認されました。採集された個体は体長3cmの幼魚だったことから、綾瀬川流域内での繁殖の可能性が示唆されました。
- 綾瀬川ではヌマチチブやテナガエビ、スジエビなどの重要種が確認されており、クウライギギが生態系に与える影響は小さくありません。今後も注目していく必要があります。



↑クウライギギ(令和4年度採集)

令和4年度に綾瀬川で確認されました。平成28年10月1日に特定外来生物に指定された種。小魚やエビ、昆虫類、貝類などを食べる。

まとめ

- 足立区には、さまざまな環境の河川がみられ、それぞれの河川に特徴のある魚類相が形成されています。
- 毛長川では浚渫が魚類の生息環境に影響している可能性もあり、今後の河川工事では環境へのさらなる配慮が必要と考えられます。
- 足立区では飼育由来や釣りの対象種など人為的に放流されたと考えられる外来種が多く確認されています。このような外来種を減らすためには、啓発活動を行い、区民の河川環境への関心を高めることが不可欠です。そのためには、河川の現状について積極的に公開することや、調査に合わせて環境教育を実施することなどが有効です。



←閉鎖的な水域で釣りの多い堀川合流点付近。

釣りの対象種
ブルーギル
↓ゲンゴロウナ(ヘラブナ)

令和6年度調査 魚類確認種一覧

No.	目	科	種名	荒川		綾瀬川		毛長川	堀川	重要種	外来種	生活型
				新田三丁目地先	千住新橋緑地	内匠橋上流付近	桑袋ビオトープ公園付近	ふれあい橋上流付近	葛西用水合流地点			
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	1						国:EN、都:EN		降河
2	コイ目	コイ科	コイ(飼育種)		1	1		1	2		国:EN	淡水
3			ゲンゴロウナ						2	(国:EN)	国内	淡水
4			ギンブナ					4	9	都:DD		淡水
5			バス	1					1	(国:VU)	国内	淡水
6			オイカワ						1	都:DD		淡水
7			ウグイ属			2						不明
8			モツゴ					2	11			淡水
9			ニゴイ	1		2			4	都:NT		淡水
10			スゴモロコ						8	(国:VU)	国内	淡水
11	ナマズ目	ギギ科	コウライギギ				1				特定	淡水
12		ナマズ科	ナマズ				1				国内	淡水
13	ボラ目	ボラ科	ボラ	7	6				3	10		海水
14	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ		2		3		4		特定	淡水
15	スズキ目	スズキ科	スズキ	2	2			2	1			海水
16		サンフィッシュ科	ブルーギル				1	21	13		特定	淡水
17		シマイサキ科	シマイサキ	1	4			5				海水
18		マハゼ	マハゼ	4	5	8			19			河口
19		アベハゼ	アベハゼ	1	3							海水
20		シモフリシマハゼ	シモフリシマハゼ			4	2	1				河口
21		ヌマチチブ	ヌマチチブ	1		11	2	3	1	5	都:留	両側
22		ウロハゼ	ウロハゼ			1						河口
23		ビリンゴ	ビリンゴ		1	1						河口
24		タイワンドジョウ科	カムルチー					1			国:VU	淡水
合計 6目11科24種				合計 19個体	24個体	29個体	6個体	8個体	39個体	41個体	61個体	
				種数 9種	8種	7種	4種	10種	6種	11種	5種	9種

- 注) 1. 種名・分類は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト 河川環境データベース』(国土交通省、2023)に準拠しています。
2. 表中の数字は確認個体数を示しています。
3. 生活型 加納ほか(2000)を参考に、以下のとおり区分しています。
- 淡水: 淡水魚(生活史が淡水域で完結する種)
- 降河: 降河回遊魚(産卵のために海へ下る種)
- 河口: 河口魚(河口域で全生活史をほぼ完結する種)
- 不明: 生活型不明(生活型の不明な種)
4. 重要種(赤色で示した種) なお、国内外来種に該当する種は()内に示し、集計から外しています。
- 国:EN...環境省RL(2020)の絶滅危惧B類、国:VU...環境省RL(2020)の絶滅危惧B類、国:DD...環境省RL(2020)の情報不足
- 都:EN...東京都RDB(2023)区部における絶滅危惧B類、都:NT...東京都RDB(2023)区部における準絶滅危惧、都:DD...東京都RDB(2023)区部における情報不足、都:留...東京都RDB(2023)区部における留意種
5. 国外外来種(青色で示した種) 特定...特定外来生物、 国外...特定外来生物以外の国外外来種
6. 国内外来種または飼育品種(紫色で示した種) 国内...国内外来種(国内の他の地域から人為的に移入された種)、品種...飼育品種
- 遡河: 遡河回遊魚(産卵のために河川に遡上する種)
- 両側: 両側回遊魚(生活史の一時期を海域で過ごす種)
- 海水: 海水魚(海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。)

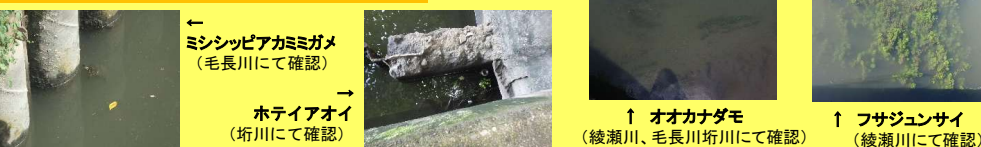
令和6年度調査 底生動物確認種一覧(綾瀬川2地点で実施)

調査地点	確認種	合計
内匠橋上流付近	ジーカイメン、エダヒドラ属、ミズゴマツボ(国:VU、都:DD)、カワコザラガイ属、ヒロマキミズマイ(外来)、カワヒバリガイ(特定)、タイワンシジミ(外来)、カワゴカイ属、Notomastus属、クロオビミズミズ、ヘラヒメトミズ、スエヒロミズ属、ウチワミズ属、モトムラユリミズ、フトゲユリミズ、ユリミズ、ハバヒロビル、シナヌマエビ(外来)、テナガエビ(都:留)、クロベンケイガニ(都:留)、ムネカクトビケラ属、ツヤユスリカ属、ユスリカ属、ホソユスリカ属、セボリユスリカ属、ハモンユスリカ属、ヒゲユスリカ属、ミギワバエ科	28種類
桑袋ビオトープ公園付近	ジーカイメン、ヒメタシシ、カワヒバリガイ(特定)、Notomastus属、ヘラヒメトミズ、エラムミズ、ウチワミズ属、モトムラユリミズ、フトゲユリミズ、ユリミズ、ミズレンヌマエビ、シナヌマエビ(外来)、テナガエビ(都:留)、スジエビ(都:留)、ムネカクトビケラ属、ヌカカ科、ホソユスリカ属、コガタユスリカ属、ナガスネユスリカ属、ハモンユスリカ属、カユスリカ属	21種類

重要種(赤色で示した種) 国:VU...環境省RL(2020)における絶滅危惧B類 都:DD...東京都RDB(2023)区部における情報不足、都:留...東京都RDB(2023)区部における留意種

外来種(青色で示した種) 特定...特定外来生物、 外来...特定外来生物以外の国外外来種

調査中に確認されたその他の外来生物



←モシツキアカミミガメ(毛長川にて確認)

→ホテイアオイ(堀川にて確認)

↑オオカナダモ(綾瀬川、毛長川堀川にて確認)

↑フサジュンサイ(綾瀬川にて確認)